

令和元年度 マリア学院高槻マリアインマクラダ幼稚園 自己評価

1.本園の教育目標

- ・神が人間を創造された目的に従って、永遠の幸福に達することができるよう、その心身を育てる。(宗教教育)
- ・幼稚園生活を通して、自分らしく生きる力を養う。(モンテッソーリ教育)
- ・神様とまわりの人から愛されていることに気付き、その体験を通して人を愛する子どもになっていく。(平和教育)

2.本年度年間目標

- ・意識しながら体を使い、よく考え工夫しながら生活する。
- ・友だちとの繋がりの中で、共に豊かにのびのびと育ち合う。
- ・神様と人を愛し、また自分を愛し、互いに認め合い、祈り合いながら過ごす。

3.本年度重点的に取り組む目標や計画

- ・教師ひとりひとりがモンテッソーリ教育への学びを深め、自身を整えながら、信頼できる同伴者として子どもの育ちを援助する。
- ・ひとりひとりの生き方に添い、日々の活動の中で援助の仕方を見出す。
- ・室内から室外への環境のダイナミックな繋がりを子どもたちの生活に生かす。
- ・防災、防犯対策の再度確認、共通意識を高める。

4.評価項目の達成および取り組み状況

| | |
|--------|--|
| 教育目標 | <ul style="list-style-type: none">・愛されている喜びを感じ、自分自身のことも周りの人のことも、ひいては遠い国の人々のことも大切にできる。・モンテッソーリ教育を通し、自分の力を存分に使って、自立へ向かう援助ができるように心を尽くした。・平和の心が育つよう、子どもとともに日々祈りながら過ごした。 |
| 指導の重点 | <ul style="list-style-type: none">・子どもの活動に尊敬を持って関わり、自ら成長していく子どもの歩みに同伴していく。・一人一人の育ちに対応できる環境作りを中心に心を尽くし、教師自身が心を整える努力をする。 |
| 特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none">・特別支援が必要な子どもの状態を把握し、スクールカウンセラー、又、関係機関との連携をとりながら指導にあたった。 |
| 教育環境整備 | <ul style="list-style-type: none">・子どもの自立を援助する環境作りを心がけ、それぞれの育ちに沿った環境となるように見直しをしている。・教師が一番の良い人的環境となれるよう、感謝と喜びを持って保育し、心を整える努力をしている。・園庭を芝生化し、子どもの成長に見合った遊具の見直しを行い、充実した環境の中で子どもが心身共に成長できる活動の場を設けた。 |
| 保健管理 | <ul style="list-style-type: none">・子どもの健康状態を職員全体で把握し、よく話し合い、適切に対応する。・園医の指示をおおぎながら、子どもたちの状態にあった対応ができるよう情報を提案している。 |

| | |
|--------|--|
| 安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検を定期的に行い、改善点や計画についてよく検討し、より安全な施設設備を目指す。 ・防災訓練等を定期的に行い、防災についての正しい知識と理解を深め、適切に対応できるよう、子どもたちに伝達し、又、教師も意識し過ごしている。 |
| 経営組織 | <ul style="list-style-type: none"> ・財務面においては堅実な運営方法を取り、組織性において、教職員の個性を尊重しつつ、互いの成長を目指し、学び合える場を設けている。 |
| 研究研修 | <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に研修会に参加している。 ・研修の報告をもとに分かち合い、保育に生かせるように学び合っている。 ・職員間のかち合いを通し、子どもたち一人一人、そして、職員自身も、神様から愛されていると感じ、共に歩める喜びをかち合っている。 |
| 学校間交流 | <ul style="list-style-type: none"> ・職員の小学校行事への参加や参観をし、卒園後の子どもの様子を見る機会を持ち、小学校との連携に努めている。 |
| 家庭地域社会 | <ul style="list-style-type: none"> ・園に関わる地域の方々の働きを知り、子どもたちが感謝の気持ちを伝える機会を作っている。 |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・未就園児クラス(こどもの家、トゥインクルスター)、おやこ集いの広場(puka puka mama等)の充実をはかり、保護者間の交流の場作りを力を入れている。 ・預かり保育を通して、保護者の就労、又、育児の手助けにより、親子ともに安心した生活が送れるよう協力を努める。 ・臨床心理士による子育ての相談の場を設け、育児への提案、提言、必要な援助を行っている。 |

5. 今後取り組むべき課題

| | |
|-------|---|
| 教育目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの観察、援助の仕方に共通の理解、意識を深め、互いに向上し合えるよう、園内研修や外部研修を通して、分かち合いへの取り組みを行なっていく。 ・教師一人一人が自分自身と向き合い、自己の課題に気づき、自分を整える努力をしていく。 |
| 子育て支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の環境を整え、充実したものとなるよう努力していく。 |
| 安全管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止のため、施設設備の更なる見直し、点検をする。 ・子どもが自然災害などに対する正しい知識を持ち、災害時の行動の仕方がわかるよう教師が意識して伝えていく。 |

6. 学校関係者の評価

| |
|--|
| <p>保育内容評価について学校関係者評価委員11名の意見を集約</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育理念に基づいた教育が徹底され、個を大切にしたい関わりが、一人一人の自立心を育て、自らを、そして友達や周りの人を愛する心へとつながっている。 ・モンテッソーリ教育を通して、自分で考え、発言し、実行するという自主性が育ち、卒園してからもその精神が生きている。 ・子どもの観察を通しての教師間、保護者への連絡が密であるという項目において、課題があると感じられるという意見があった。 |
|--|

7. 財務状況

| |
|---------------------------------------|
| <p>公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。</p> |
|---------------------------------------|